

愛媛県現代俳句協会会報

No.34

R4・10・20

発行者 愛媛県現代俳句協会 会長 松本勇二
事務局 千七九九―二六六二
松山市太山寺町甲四七五―三 和田幸司方

ご挨拶 会長 松本勇二

令和四年度の会報をお届けします。暑い暑い、残暑の日々が続いておりましたが、秋祭を境にめっきり秋らしくなりました。良い季節になりましたので、吟行など計画し、出かけてみてはいかがでしょう。

今年度も、昨年度に続き、書面での総会となりました。会員の皆様と一堂に会することができず残念でなりません。投句のみの大会でしたが、皆様のご協力があり多くの投句がありました。この場を借りまして感謝申し上げます。

十一月十二日には県民文化祭俳句大会が県民文化会館で開催されます。感染対策等を講じております。誘い合つてふるって参加いただければと思います。

皆様の投句を、愛媛地区の役員各位に選句していただきました。高点句の皆様にはささやかな賞を送らせていただきました。

戦争は何色だろう木の芽時 門屋和子

が十二点を集め最高点句となりました。ウクライナの惨劇などを思い浮かべながらつぶやいた、「何色だろう」に何とも言えない空虚感が漂います。いつも。意表を突いた句の展開を見せる、門屋さんらしい一句です。

母の歳越えてくるくる春日傘 山崎タツ子

も、同じく十二点を獲得しました。明るい句には定評がある山崎さんです。母上の年齢を超えたことにより、老いを意識するのかと思えば、春日傘をくるくる回すと書く明るさが人気を得ました。こういう書きぶりを継続していただきたいと思います。

水無月や人を見飽きしゴリラの目

板倉肱泉

十点句は板倉さんでした。俳句歴も長く、いろいろな大会に参加されている、熱心な作家です。ゴリラの側から書かれた俳句は、

妙に説得力がありました。

バス待つ間生命線に夏燕 松本ヒサ子

九点句の松木さん。バス停で掌を眺めていたら、遠方に夏燕の飛翔が目に入ったのでしよう。遠近の配置が巧みな一句です。

水槽皆五月の水と入れ替える 渡部愛子

同じく九点句です。入れ替える水槽の水を、「五月の」とするだけで、辺りに明るい風が吹いてきます。いつも切れ味のある句を書いている渡部さんらしい一句です。生と死のつながってゆく春夕焼 白石司子
落椿大地に炎えて汀子逝く 本郷和子
宇宙にも行き止まりあり揚雲雀

早蕨の齒ざわり母が遠く笑む 加藤公子

梅岡ちとせ

この四句が八点句です。どの句も季語がうまく配されていて、内容を高めています。来年はねんりんピック俳句大会が愛媛で開催されます。多くの参加を期待します。

第三十四回總會報告（紙上）

令和三年度 事業報告

- 一、愛媛県現代俳句協会会報の発行
九月二十日に会報No.33号を発行し、全会員と関係機関へ送付した。
- 二、通信交流俳句会の開催
本年度十二年目を迎えた。毎月の通信交流で俳句の研鑽を積み、参加者は三十名を数えた。
- 三、三月二十三日東京における現代俳句協会理事会及び総会の予定は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。
- 四、協会賞・新人賞の募集と選定
例年通り募集し、受賞者を選考する。該当者なし
- 五、令和三年度総会・役員会について
子規記念博物館において実施する予定は新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

令和四年度 事業計画

- 一、愛媛県現代俳句協会賞・新人賞の募集
協会賞は近作五十句、新人賞は同三十句を令和五年二月二十日締切で募集する。選考決定は三月上旬。参加費無料。
- 二、俳句勉強会・吟行会の開催
・県内会員による合同吟行会を開催し、実作力の向上を目指すとともに親睦を深める。
・東・中・南予で吟行会を開催して事務局に実施報告をする。
- 三、愛媛県現代俳句協会会報の発行
会報No.34号を発行し、全会員と関係機関へ郵送する。
- 四、現代俳句協会本部行事への参加・協力
- 五、役員会開催
①年一回の定例会を開催する。必要に応じて臨時役員会を招集する。
②その他、イベント参加・開催等
- 六、通信交流句会を開催する。
昨年に引き続き通信交流句会を開催する。年五回 会費必要。
- 七、愛媛県俳句協会事業（俳句大会・バス

ハイク）へ積極的に参加する。

- 八、現代俳句協会本部総会への出席
毎年三月に開催される総会に出席する。

- 九、第三十五回定例総会の開催
令和四年六月に定例の総会を開催する。（予定）

令和四年度

愛媛県現代俳句協会 総会投句集

- 田水張る彼の世に光刺すごとし 松本勇二
思い出は心の糧や昭和の日 青野ひろ美
石垣に野武士の貌の大蜥蜴 秋山豊美
囀りや仄かに甘き痛み止め 安藤和子
地雷原五月雨かぐはしく煙る 家藤正人
かたつむりウクライナへとゆく途中板倉肱泉
子どもの日玩具の電池新たにす 稲井夏灯
じゃんけんに負け夕焼に攫はるる 井上論天
青嵐岬の観光案内板 牛津せつ
青芒出口どこにも見つからぬ 梅岡ちとせ
母の日の写真の母に告げること 浦田真紗世
寒波くる電話のベルは風神か 大西宣子
人間を脱げば歩こう初夏の風 大野美代子

野蒜引くむかし話のとつとつと小木曾富美子
 明滅もやがて遠のき鳥帰る 越智裕美子
 アマリリス咲いてゐる間はつけぬ嘘 神楽坂リンド
 風を呼ぶとき凍蝶のゆらぎかな 片山一行
 前向きに過去を脱ぎ捨て今年竹 片岡寿子
 ウクライナ子の泣き声に春の雪 加藤公子
 息をしてうなずく姉へ春夕焼 門屋和子
 余命まだある七草粥する 金井令子
 鮎放流女に長き水仕事 金並れい子
 日本に何かが迫る朝寝かな 櫛部天思
 アパートの解体春泥をスコップに 窪田圭子
 赤星山まだ深く愛せよカンナ 薦田のり子
 流雛とは素足の感触ゆすらうめ 近藤亜沙美
 鳥帰るゲルニカに傷数多なり 白石司子
 閉ざされし母校の艇庫返る 新宅美佐子
 剣先はみづきなり閑かなり たかはししずみ
 春隣病む猫の尿しぼる朝 高橋美弥子
 母の日に赤飯作りて膳囲む 田窪良江
 昭和の日戦争ほどの悪はなし 玉井淳子
 歪なる生命線や桜桃忌 二宮洋子
 退屈な二階の病窓初燕 乃万美奈子
 九条は直立不動沖縄忌 浜田京子
 黙食の等間隔をシクラメン 藤田敦子

高中小と廃校の碑や鮎遡上 藤田ユリ子
 風無くば呆けてしまふ鯉のぼり 本郷和子
 母として生きた歳月花は葉に 松浦洋子
 ぐち一つ言わぬ母なり母の日過ぐ 松木ヒサ子
 花大根戸建住宅ほめられる 松本 豪
 春逝くや天使の羽は燃えぬゴミ 眞矢ひろみ
 若葉風歩幅優しき親子連れ 丸木美津子
 故郷は過疎化進みて夏の山 宮田頼行
 虎落笛腓返りの膝を抱く 三好照子
 人に死のありて青葉に染まりゆく三好眞由美
 笑う山にんげん模索するばかり 三好靖子
 思い出の椅子すりぬけて若葉風 村上邦子
 リモコンの潰れしボタン金亀子 八木大和
 初夏は満州帰りの祖母の忌だ 柳原栄三
 眼の中の地球の欠片が騒ぎ出す 山内崇弘
 愚痴不満空に放つて風光る 山崎タツ子
 神の前背後より蜂確かめに 和田幸司
 水草生うふと水底の闇思う 渡部愛子

- ・ 役員14人による選句で特選と入選の合計で点数を合計した。
- ・ 高得点句十二点
- 戦争とは何色だろう木の芽とき 門屋和子
- 母の歳越えてくるくる春日傘 山崎タツ子
- ・ 以下の高得点句
- 水無月や人を見飽きしゴリラの目 板倉肱泉
- バス待つ間生命線に夏燕 松木ヒサ子
- 水槽皆五月の水と入れ替える 渡部愛子
- 落椿大地に炎えて汀子逝く 本郷和子
- 生と死のつながっていく春夕焼 白石司子
- 宇宙にも行き止まりあり揚雲雀 梅岡ちとせ
- 早蕨の齒ざわり母が遠く笑む 加藤公子
- 「通信句会活動状況」
- ・ 年五回の投句と五回の互選を行う。
- ・ 毎月の投句・選句はがきにコメントと感銘句の句評
- ・ 役員による選句の依頼
- ・ 年一回の合同俳句会の開催
- ・ 愛媛新聞への投稿
- ・ 一年間の活動成果を冊子にまとめる。

★令和四年度愛媛県現代俳句

協会賞 同新人賞の募集

◇作品 協会賞 近詠 五〇句

新人賞 近詠 三〇句

(要タイトル)

◇応募資格 愛媛県現代俳句協会会員

◇締切り 令和五年二月二十日

◇投句料 無料

◇選考委員

協会賞 松本勇二 井上論天

白石司子

新人賞 松本勇二 本郷和子

山内崇弘

◇発表表彰 令和四年度総会にて

◇応募先 〒791-1106

松山市今在家一丁目六―三三二

松本勇二宛

令和四年度役員

顧問 宮田頼行

会長 松本勇二

副会長 井上論天 本郷和子 山内崇弘

白石司子

青年部長 家藤正人

幹事 大野美代子 加賀城燕雀

藤田敦子 たかはししずみ

三好靖子 三好眞由美

監事 武智かおる 金並れい子

会計 窪田圭子

事務局 和田幸司

会員増強委員会

四国ブロック代表 藤田敦子

※県協会の会費千円は今回徴収しないこととしました。今年度分を納入いただいた方は次回に充当します。

〒七九〇―〇九六二

松山市枝松二―四―四一

窪田圭子まで

令和3年度 収支決算書

自 2021 (令和 3年) 4月 1日
至 2022 (令和 4年) 3月31日

収入の部

(単位 円)

項 目	R3 予 算 額	R3 決 算 額	差 異	備 考
繰越金	236,109	236,109	0	令和3年度から
会 費	0	0	0	@1000円× 0名
助成金	146,300	137,465	8,835	@1900円× 75名 他
雑収入	4	5	▲ 1	預金利息
計	382,413	373,579	8,834	

支出の部

(単位 円)

項 目	R3 予 算 額	R3 決 算 額	差 異	備 考
会議費	0	0	0	
研修費	30,000	0	30,000	
旅 費	90,000	0	90,000	
印刷費	50,000	37,653	12,347	会報資料
通信費	50,000	35,477	14,523	会報等郵送
交際費	20,000	0	20,000	
備品費	20,000	0	20,000	
消耗品費	25,000	6,538	18,462	インク、ラベル、用紙等
雑 費	97,413	11,000	86,413	賞品代
計	382,413	90,668	291,745	

収入総額 ¥373,579 ー支出総額 ¥90,668 =差引残高 ¥282,911 (次年度繰越)

令和4年度 収支予算書 (案)

自 2022 (令和4年) 4月 1日

至 2023 (令和5年) 3月31日

収入の部

(単位 円)

項 目	R3 決 算 額	R4 予 算 額	差 異	備 考
繰越金	236,109	282,911	△ 46,802	令和3年度から
会 費	0	0	0	@1000円×0名
助成金	137,465	136,800	665	@1900円×72名
雑収入	5	4	1	預金利息他
計	373,579	419,715	△ 46,136	

支出の部

(単位 円)

項 目	R3 決 算 額	R4 予 算 額	差 異	備 考
会議費	0	0	0	役員会・総会
研修費	0	30,000	△ 30,000	通信交流俳句会他
旅 費	0	90,000	△ 90,000	本部総会出席旅費
印刷費	37,653	60,000	△ 22,347	会報・会議資料・封筒
通信費	35,477	60,000	△ 24,523	会議案内・会報等 送料
交際費	0	20,000	△ 20,000	慶弔・謝礼等
備品費	0	30,000	△ 30,000	事務用品
消耗品費	6,538	35,000	△ 28,462	用紙・封筒・ラベル他
雑 費	11,000	94,715	△ 83,715	賞品他
計	90,668	419,715	△ 329,047	

会 計 監 査 報 告 書

令和 3 年度会計について、帳簿及び関係書類により、
監査の結果、いずれも正当であることを確認いたしました。
以上ご報告申し上げます。

令和 4 年 3 月 31 日

愛媛県現代俳句協会 会長 松本 勇二 殿

監 事 丸木 美津子



金並 れい子

